

○大村晶也

今日、現場見学に行って思ったことは、自分達が当たり前のように通ったり、使ったりしている道路や建物を作るのがどれだけたくさんの費用や時間、人の手によって作られているのかがわかりました。他にも教科書を見ても想像しにくかったけど、今日現場見学に行って、見て想像しやすくなったと思います。

1番初めの名田橋に行ったときに、橋の落下防止の手すりを新しく変えるのに1億2千万円もかかると聞き、こんなに高いのかと驚きました。さらに驚いたのは、橋の下にスズメがいて、点検の時橋の下のスズメの糞などを除去するのに、何円ぐらいするのか質問されて、僕は300万円ぐらいかなと思ったけれど、1億円位かかると聞き、手すりの工事にかかる費用とほとんど変わらないので驚きました。

2つ目の現場に行ったところの堤防が地震で高さが低くならないように、補強工事をしていて、その時に使っていると聞いた測量機械が学校にあるのと全然違って、普通測量は二人でするものだけどその現場にあったものは、端末を使って一人でできるのがすごいと思いました。

僕は2つ目の現場で仕事をしている会社の人が言っていた3つの言葉がとても印象に残っています。休暇、給与、希望という三つの言葉に僕たち若い世代の人でも働きやすくなってきているのかなと思いました。

僕は今日の現場見学で見たことや聞いたことを生かしてこれからの授業や実習などを頑張って、地域の人のためになるような仕事について頑張っていけるようにしていきたいです。

○勝村勇星

今日の現場見学会はとても有意義なものでした。とても勉強になり、学校での課題に取り組むモチベーションがあがりました。やはり自分の目で本物を見るというのは良いものでした。授業でやったところでも写真とは全く違う印象でまさに「百聞は一見に如かず」の状態でした。特に三つ目に行った新町川橋下部工事の現場では、家に近いこともあり、色々な情報は知っていましたが、実際に現場を見たことがなかったので新鮮でした。スケールの大きさに圧倒され、食い入るように説明を聞いていました。

もうひとつ面白いと思ったことがあります。それは、津田と沖洲で橋を作っている会社が違うということです。作業の現場は違ってもいえ様々な人たちがこの橋に携わっていて、その一部分が見えたようで、面白いと感じました。

建設現場の方々は、とても丁寧で優しくったことを覚えています。その丁寧さと優しさが人と協力する上で、かなり重要になってくると思いますし、このことが「良い建設をする秘策だったりするのかな」と考えたりします。

今回の現場見学会、得たものがとても多く勉強になりました。今回の経験を生かせるかどうかは自分次第なので、努力したいと思います。

○鎌田 颯

今日の現場見学では四つの現場を見学させて頂きました。

1つ目の現場の名田橋では、柵の所を新しくする工事をしていました。工事をしている足場を上

がらせて頂きました。上に登ると橋の裏の構造を見ることが出来ました。さらに、車が走っているすぐそばまで見ることが出来ました。

2つ目の現場では、学校で使っているよりもすごい測定の機械を見せてもらいました。スマホと連携させることにより一人でも測定ができると聞いてとても驚きました。また液状化の対策工事などもありました。

3つ目と4つ目の現場は高速道路の工事でした。3つ目の現場は水上の工事で水の底の土や泥を取り除いていました。今まで川や海に橋を架けるときどのような工事をしているのか気になっていたのでこの現場で水上の橋のかけかたがわかりました。最後の現場では、三つ目の現場とつながる場所でこれが完成すると徳島県の南側に行きやすくなるそうです。

僕は今回の現場見学で、たくさんのことを学びました。橋などを作る技術面などもたくさん学びましたが、その中でも僕が一番印象に残ったのが職場の環境が良くなっているという事です。きつい、汚い、危険という3Kから休暇、給与、希望という3Kなっていると聞いてとてもいいなと思いました。機器の性能が向上したことで、危険できつい仕事が減らされたことで建設業に人気が出てくると思います。今回の現場見学で貴重な経験と話を聞くことができとても良かったです。

○川井麻陽

今日の現場見学に行ってみて、大きな工事ばかりだったので、長い時間をかけて難しいことをするので大変だなと思いました。

初めに訪れた、大久保産業さんの名田橋の修繕工事は以前から知っていて、よく通るところだったので関心がわきました。照明を両側の歩道の手すりに付けるために橋の下に工夫がなされていて、自分で橋を登ってみて中に崩れないような工事もされてあって、自分が日頃見えていない部分だったので、すごいと思いました。

2つ目に訪れた姫野組さんの耐震工事は、南海トラフなどといった大地震に備えた工事なので、とても興味を持ちました。また、マリンピアなどの地震によって液状化しやすい場所にたくさんの企業が集まっているので、とても大事なことをしているのだと思いました。測定を行う装置もスマホと連動していて、速く簡単に行えると同時に機械化が進んでいるのだなと思いました。企業の方がおっしゃっていた通り、自分も工事関係の仕事はきつく、危ないというイメージを持っていましたが、そのような時代から今は働きやすい仕事に変わってきているのだと思いました。

3つ目に訪れた五洋建設さんの新町川橋下部工事は川の上に一から道路を造られているところを見て、とても長く大変な工事だと思いました。イオンの近くで人が多く見て知られる橋なので、大切な工事なのだと思います。

4つ目に訪れた高田機工さんの沖洲高架橋上部工事は四国の未来は無限大という大きなプロジェクトで自分の知らない場所にこのような大きなものが建っているのだと驚かされました。また、科学技術高校の出身で歳も近い土木の方が働いていたので自分もこのようになっていかなければいけないのだと感じました。

4つの現場を見学して建物を建てる難しさや大変さ、そして楽しさがわかりとても良かったです。

○北川晃輝

今日、色々なところに、現場見学に行きました。

1つ目の現場は名田橋でした。名田橋は凄く昔から建てられていて、とても頑丈な建設物だなと

思いました。橋一本建てるのに一億円を超えるほどのお金がいるのにも驚きました。橋の下の隙間などに鳥の巣などを除去するのも、一億円ほどかかるのにとっても驚きました。

2つ目の現場は、松茂町豊久にある工事現場に行きました。そこで僕が一番印象に残っているのは、休日の休みが1日から2日になろうとしていることです。やはり今の時代は建設業に行こうという若手が年々減っているとよく聞きます。それで残業を減らし、休みを2日にするという計画や、3Kから新3Kになろうとするところがとてもすごいと思う。

もうひとつは、姫野組の人たちは動きも喋り方も凄いてきぱきしていて、これが県内トップクラスの建設会社なのだと思います。

3つ目の現場は、津田海岸町にある現場です。とても大きな橋の下部工事資料を見る感じとても怖そうでした。下部がしっかり作られていないと橋が崩れると大変なことになります。凄く大事な仕事だなと思いました。作業しているところを実際に見ると怖そうでした。また19億円もかけている工事と聞いて大きな仕事なのだと改めて思いました。

最後は沖洲2丁目にある現場でした。四国の高速道路を8の字に繋げたいという話を聞き僕たちが将来、四国を行き来することがとても便利になるのではないかと期待します。

この現場見学を通して、建設業をもっと知りたいと思いうようになりました。今後は学校でさらに勉強していきます。

○木村優斗

今回の現場見学で私は、初めて見たものや知ったことが多く、驚くものばかりだった。例えば、建設業者の週休が2日になりつつあることや、最新機器での測量、橋は定期的な検査、掃除が必要であることなどの話があった。

建設業者の仕事がやりやすくなるのは良い話だなと思った。週休が二日になるだけでなく、従来の3Kから新3Kになるように取り組まれているという話もあった。近いうちに多くの現場で実現されてほしい。

最新機器での測量は、自分も普段使っているスマホを使っていたので驚きました。最新の技術によって作業の効率を上げて人手不足を補っているという話があった。最新技術が発達するのはいいことだが、やはり人手不足を補いきるには限界があると思うのでこれから人手が増えてほしいと思った。

橋の定期的な検査や掃除の話は名田橋での話だった。名田橋で聞いた話は衝撃的なことが多かったです。橋は定期的に検査をするため約5年に一度掃除をするそうだが、総額1億円かかると聞いて驚きました。予想以上の額だったが公共の場をきれいにしてくれるのはありがたいと思った。一番名田橋の話で衝撃を受けた話は南海トラフによって名田橋が崩壊する可能性が高いということだ。耐震工事ができていなく、徳島県内で通ることもある橋だと思うので南海トラフで崩壊してしまうのはとても怖い。他の橋は大丈夫なのだろうか心配してしまう。早く耐震工事をしてほしいという気持ちだが、話を聞いていると名田橋自体の補強をしているそうなので仕方がないと思う。ここでも人手がおおくればもっと安全な方にいけるのではないかと思います。でも、今の状態で私たち住民の安全を守るために頑張ってくれている人たちに感謝したい。

○後藤達磨

今回、橋の構造や地震や津波の対策を見学しました。まず、初めに名田橋は小さな橋なのに今も

こうして改修工事を行いながら昔の形を残しており、それと同時に次につなげていくという事も重要だと改めて感じました。さらに、高欄部分にもLEDの照明の取り付けを行っているなど、徳島で作られた製品を取り入れており素晴らしと思いました。

2つ目の場所は、地震と津波対策事業の一部を見学させてもらいました。建設業に関する昔の3Kについて話を聞き、きつい、汚い、危険という考えがあり、建設関係の仕事に就く人は減ってきていたようです。しかし、新3K、給与、休暇、希望にかわってからはだんだんと増えてきていてよく考えられているなと思いました。また、地震などについては、東日本大震災と同じ被害をもたらさないためにも、こういった対策は欠かせないと思いました。30年内に絶対来ると言われている南海トラフ地震から徳島県を守るためにも建設業の人の力が重要だとわかりました。堤防のつくる現場ではクレーンのような重機を使っており、想像していたものよりもはるかに大きい事に驚きました。騒音や効率のいい仕事方法も進化していることがわかりました。

3つ目は、高速道路の新工事ということで四国を八の字につなぐ高速道路が作られておりとてもおおきくて驚きました。大阪から徳島にはない大きい重機が来るということでいい話も聞けました。自分は建築関係の仕事に就きたいと考えていましたが、地図に残るような道路や橋、建築物を建てたいと思うようになりました。

○近藤昌斗

今回の現場見学会は、4つそれぞれが大事な役割をして皆の生活を支えているのだと感じました。普段見られない場所もあったので、とても充実した見学会だと思いました。

最初に見学した名田橋では、修繕を行っている所や、防護柵を新しいLEDの付いた物に付け替えるときの準備をしていました。普段なかなか見ない下からの橋は、柱から柱までの間に大きな穴があり、気になったので友人と一緒に聞きに行くと、費用の削減をすると共に、柱自身に掛かる重さの軽減にもなっている事を聞くことができました。更に側面にあるネジの位置がバラバラになっていたのを質問すると、橋自体に入っている様々な物が関係しており、それを切ってしまうと橋自身が古いので、壊れてしまう可能性があるため、それを避けて打ったためにああなってしまったとのことで、名田橋自体も珍しく、今や2つあるかないかという話も聞くことができました。さらに名田橋の側面部分も見させてもらい、LEDの付け替えの準備を間近でみることもできました。外出するときによく使う橋なので、とても楽しかったです。

2つ目の場所では、今まで2人使う測量機器が1人で端末を使って作業ができることでのコストの削減をしようとする試みや、いままでの3Kとは違う働き方改革での新3K、休暇、給料の改善、希望の三つを聞いてこれからの若い人達や、外国人労働者に向けていい方向に進めばいいなと感じました。また、今後起こるであろう、南海トラフ地震対策では、機械を使って鋼矢板工法や、地盤に砂を入れる工法をしりました。それと同時に改めて地震の怖さを感じました。

3つ目の橋下部の工場では、様々な機械をみることができ、水の中で柱を支える物がこうやってできていくのだと知りました。

最後に訪れた沖洲では、ドローンでの撮影を行ってもらいました。橋の大きさには驚きましたが、私の祖父が沖洲に住んでいるので完成した後の騒音や、海への影響が少し心配になりました。

普段中々見ることが出来ないところや、授業では中々わかりづらい所等様々な視点で見ることができました。現場の人に直接、貴重なお話が聞けて大変勉強になりました。またこのような機会が

あればぜひ参加したいです。

○酒井旺介

今回、現場見学に行きとても沢山のことを学ぶことができました。特に、今回の見学に行ったところはどこも国土交通省が関連していることがわかりました。国土交通省は、僕のお母さんが勤めているので、とても親近感がありました。

今回橋や高速道路の見学に行った時に沢山の資料を頂きました。資料の中を見て、驚いたことがありました。まずひとつ目は、工期についてのことです。一つの資料には、平成 30 年 2 月 21 日から平成 32 年 2 月 28 日という約 2 年という長い時間がかかるということを知りました。2 つ目は、請負金額についてです。自分たちが普段から使っている橋や高速道路が約 2 億円以上もかかる事に驚きました。

次に僕が感動したのは、現代の最新機器の性能についてです。土木コースの体験の時や建築コースの授業で簡単ではあったが、少し測量をした事があります。その時は 3 から 4 人で 1 つのグループで測量をしたが、今の最先端の機械を使用する事によって 1 人で測量をする事ができスピードや正確性が上がることに感動しました。実際に現場で最先端の機械を体験することができました。

その他にも耐震補強工事が完了している現場に入ることができました。そこで、頂いた資料には耐震補強工事の流れが書いていて沢山の作業をしている事がわかりました。

3K についても教わりました。きつい・汚い・危険が、昔の 3K で今の 3K が休暇・希望・給与になったと教わりました。

今回大変貴重な体験をさせて頂いて色々な情報を得ることができました。この経験をこれからの学校生活に活かしていきたいと思います。

○竹内康太

今回の現場見学会を行って、いろいろな種類の現場を見られてとても勉強になりました。

まず、1 か所目の名田橋現場では、橋の空洞内にたまっている巣やフンなどに 1 億円以上かかると聞いて驚きました。今行っているライトの埋め込み作業は来年くらいに終わるそうなので、とても楽しみです。

次に行った姫野組の現場では、小型タブレットを使って測量ができるという話を聞いて、時代は進んでいると感じました。そして今、建設業界では、高齢の方の割合が多く、若者の割合が減ってきているそうなのでこれから増えていってほしいなと思います。聞いた話によると、建設業界では 3K というイメージがあるらしく昔の 3K はきつい、危険、汚いというイメージで、現在は給与が高い、休暇がとれる、希望が持てるというイメージに変えていっているそうです。これからの建設業界、新 3K に早く変わってほしいと思います。

次に行った新町橋下部の工事現場では水中にコンクリートをいれる作業を行っていてとても迫力がありました僕の中で建設の仕事は海上で行うイメージはあまりなかったのでこういう仕事もいいなと感じました。

最後に訪れた沖洲高架橋の工事では 3 か所目に行った橋の下部工事とは逆で橋の上部の工事をしていました。来年には完成するそうなので楽しみです。

○谷崎 達也

今回の現場見学会に参加して、実際の建設現場ではどのような仕事が行われているのか知ることが出来た。

1 番目の名田橋の現場では、橋の修繕の様子を見学した。60 年も前に造られた橋を今も多くの人が利用することが出来るのは、そうした修繕作業のおかげだなと思った。現在そのような修繕が必要な橋などがたくさんあるそうで、修繕作業はとても大切な仕事だと感じた。

2 番目の建設現場では、堤防などの耐震対策工事の様子を見学することが出来た。河川堤防などの防災施設は、その能力に限界があることを知り、防災施設に頼りすぎず、自分たちで身を守る行動をとることが大切だなと感じた。また、建設業界はきつい、危険、汚いというこれまでの既成概念から変わりつつあるということも知った。測量や設計、施工、検査では IC T 技術が活用され、より安全かつ効率の良い作業ができるようになったことを知り、その技術の進化にとっても驚いた。高齢化する建設業界で、労働環境が良くなることは新たな労働力の確保にもつながり、とても大切なことだなと思った。私は、これまで建設業界にきついなど悪いイメージがあるとはあまり思わなかった。しかし、これから就職する際には、安心して働くことのできる環境はとても重視する点になると思うので、働きやすい環境になっていっているのは嬉しいと思った。特に週休 2 日制が導入されていることは、私生活の時間も確保できてとても魅力的だなと感じた。

3、4 番目の現場は、高速道路に関する現場だった。交通渋滞緩和や災害時の交通ネットワークの確保など、とても大切な工事だなと思った。橋脚の基礎を作る現場では、大きな穴を掘る建設機械はとても迫力があつた。この場所に大きな橋が架かるのだと思うと、建築という仕事の壮大さを感じた。今回の現場見学会を終え、建設業はとても夢のある仕事だなと思った。これからも建築を学んでいく中で、この経験を生かしていきたいと思う。

○長尾優輝

名田橋では、照明の代わりに防護柵に LED を入れるなどの工夫があつて凄いなと思いました。また、お金の話については驚くことばかりでした。鳥の巣やフンを掃除するのに 1 億円かかることや、新しい橋を作るのに 100 億円はかかるなど、莫大な資金がかかっているととても驚きました。そして、その新しい橋を作るにも、地形等を考慮しなければならなく、難しそうだと感じました。

松茂の現場では、機材を実際に使うのを見せてもらいもの凄くハイテクだなと思いました。また、ここで聞いた 3 K の話にはとても魅力を感じました。きつい、汚い、危険の昔の 3 K から、給料、休日、希望の今の 3 K に変化していると聞きとても素晴らしいことだなと思いました。特に休日が増えるというのは、個人的にはとても嬉しく思いました。

津田の現場では、橋を支える土台部分を作るところを上から見ることができました。水中の土を掘っていて、すごく迫力を感じました。ここの現場が一番ワクワクして、おもしろそうだなと思いました。

最後に行った沖洲の現場では、規模に驚きました。津田の現場もそうですが、自分では想像がつかないような広大な工事をもの凄く長いスパンで造っていて、凄いなと感動しました。

普段知ることのないものをたくさん知れてとても楽しかったです。授業ではわからないことを現場で知ることができてとても良かったです。次に現場見学に行くときにはもう少し知識をつけて、色々なことが分かるようになってからいきたいと思いました。

○西田成仁

今日は、橋梁修繕工事や耐震対策工事などの現場を見さしていただきました。現場では、教科書には載っていないような様々な機械を使い少人数で効率よく作業を行っていました。

橋梁修繕工事では、橋の構造などについて教えていただきました。普段は橋の上を通るので、下から見ることは少なく橋の下の構造が分かりました。

耐震対策工事では、「3Kから新3K」という言葉が印象的でした。今までの建築業は「きつい、きたない、きけん」という3Kでした。しかし、今の新3Kでは「休暇、給与、希望」と変わっていているということを知りました。

また、耐震対策工事では地面の液状化などの対策についても教えていただきました。地震や津波などの対策は少し知っていましたが液状化の対策は初めて知りました。堤防などでも、見えない部分でさまざまな工夫がされていることに驚きました。

新町川橋下部では、橋の内部の構造について教えていただきました。内部には筒状のものがたくさんありました。知らない言葉が多く、あまり理解はできませんでしたが規模の大きい構造物を建てる時は、機械も大きくなり作業の一つ一つを注意し丁寧に作業しなければならないと思いました。

今回の、現場見学で建築業の変化や建物を建てるうえで地盤という見えない部分がとても重要だということが分かりました。また、作業するうえで周囲の住宅や住民の人に騒音など被害の対策も行っていることも分かりました。これからは、建築に関係する言葉を勉強し現場の方のお話を理解できるよう努力していきたいです。

○濱崎准成

今回現場見学に行き、たくさんの事を学ぶことができました。特に印象に残っているのは初めに行ったところで、橋についての事です。橋は直すのに数億円かかることからすごいなと思いました。日々なにげなく通っている橋はたくさんの人の努力ととてつもない期間をかけられて作られていることをあらためて知って尊敬しました。

僕もいつかは建築士として人々の役に立つことのできる仕事をしたいです。

マリンピアや津田の方でできている橋も僕が免許を取るころにはほぼできていると思うので、いつかは通ってみたいと思います。

また、姫野組では一人でも測量ができる道具を使っているなど、とてもためになることをたくさん教えてもらいました。特に測量している機械の本体だけでも250万円するのと、それをはかる器具も5万円くらいするので建築の機械がとても精密で高価だということもわかりました。

今日の現場見学で学んだことを自分の夢に近づく一歩としていかしたいです

○藤井響生

今回の現場見学を通して感じたことは、工事現場を、写真や図で見るのと、実際に自分の目で見るのでは全く感じ方が違うということだ。図で見ると簡単そうに見えるものでも、実際は複雑な形状をしていて、普段自分たちが利用している橋への見方が変わった。費用も自分が思っているよりはるかに高く、責任感を強く感じた。普段何気に通ることができている、その普通と感じてしまっていることの裏に、建設会社の頑張りがあることを改めて実感し、尊敬が高まった。

今まで、何かを建てるなどの外で行う仕事は自分に向いていないと思っていた。けれど、今回の

現場見学を通してその考えが少し変わった。その理由は、新3Kの言葉を聞いて建設会社に対するイメージが変わったからである。実際に4つの現場を見学しても、悪印象を持った現場は1つもなく、興味の湧く所ばかりだった。それぐらい、今と昔で建設会社の取り組みは変化してきているのだと思う。そしてこれからも、良い方向に進んでいくと思う。

今回の現場見学のように、実際に自分の目で現場を見るのと想像するだけでは、感じ方も考え方も全然違う。新しい考えも出てくる。今回や今までのような貴重な経験を重ね、たくさんの考え方をもち、これから経験することを、自分の最終の進路選択に活かしていこうと思う。

○松田拓真

今回、現場見学で4ヶ所の様々な現場を見学しました。1番初めは、名田橋に行きました。普段では、見る事が出来ない視点から橋を見ることが出来ていい経験になったと思います。橋のほんの短い数10メートルほどの長さでも数億円を超える金額がかかっていると知り驚きました。

2カ所目は、堤防の補強工事の現場に見学に行きました。工事は姫野組が行っていて最新の測量機器を使って測量をしていました。現在では、1人ででも測量が出来るようになっていてすごいと感じました。今まで自分が授業で習ってきたのは3人1組で行うやり方なので作業効率が大きく変わると思いました。

3ヶ所目は、津田にある高速道路の基礎を作る工程を見学しました。基礎の中を上から見ると思っていたよりも深くてかなり壮大な景色でした。川の上ということもありかなり風も強かったけど、この中で作業するのは大変だと思いましたがどんな状況でも人のために作業している所を見てこのような仕事へ憧れを抱きました。

最後に高速道路を作っている現場に見学に行きました。最初に説明を聞いて四国で高速道路を8の字に造る計画をしていることを知りました。四国は他の地域よりも遅れていると思うので他の地域に追いつく1歩だと思いました。

○三原佳士

今回の現場見学では、今までのイメージを覆すような話を聞くことができました。

私は、初め、建設現場はきつくて、危ないイメージがありました。しかし、最近では休みが多くて、安全を重視されていると聞いて、建設会社に入りたいという気持ちが強くなりました。

名田橋を見学させてもらった時は、車がたくさん通っている中で作業をしなければならないのは、とても怖いと思いました。高い所なのに風や車が通る振動が伝わってくるので、私には耐えられないので現場の人の凄さを感じました。

豊久下流地区では、初めて見る測量の機械があって説明を聞くと1人ででも測ることができると聞いて驚きました。1年生の時に3人がかりでやっていたものが、1人でできるのは、すごいことだと思いました。さらに、あれだけ苦労した水準を合わせるのを自動でしてくれると聞いて驚きました。ここの現場の人のおかげで津波が来た時、少しでも多くの命が救われるので、とても感謝しています。

新町川橋は、初めは川に何をしているのだろうかと思っていました。そして、奥に進むととても深くて大きな穴が川の中に広がっていて驚きました。本当に深くて上から見下ろすととても怖かったです。凄いと思う反面、環境問題は大丈夫なのか心配していました。ですが、その心配はいりませんでした。しっかり水を綺麗にする設備があって安心しました。とても大規模な工事で便利で安

全な橋を作ってくれるのだと知りとても感謝しています。

最後は沖洲高架橋です。行くとそこには大きな橋が目の前に広がっていて、とても感動しました。なぜこんな大きな橋を支えられるのだろうと心が震えました。

こんなにもたくさんの経験をした中でも、特に印象的なのはお金の話です。何気なく通っていた名田橋は、点検するのに1億円すると聞いたので、とても驚きました。

○宮本海音

今回の現場見学では、普段入ることのできない建設現場を実際に間近で見たり、そこに携わる方からお話を聞いたり、貴重な体験ができました。今回私たちが行った現場は、どこも徳島がより良い街になる為の重要な工事を行っていることと知り、とても勉強になりました。

最初に行った名田橋では、約56年前に架設された橋が点検や改修を繰り返されて現在も吉野川を渡る重要な手段として機能していることを知って、橋を設計・架設する技術は当時からとても高いものであったということを実感しました。

2つ目に行った地盤の耐震補強現場では、近い将来確実に発生する南海トラフの被害を少しでも抑える為にこのような工事を行っていることを学びました。また、最新の技術を用いた測量機械や3K・新3Kについても学び、私の建設現場への印象がより一層良くなったと感じました。

3つ目と4つ目に行った高速道路の建設現場では、身近な場所でここまで大きなプロジェクトが進められていることを知り、とても驚きました。個人的な話ですが私は沖洲、つまりこの現場の近くに住んでいます。だから近くに高速道路やICができることは以前から知っていましたが、あまりマリンピアや津田には行かないのでここまで大きな工事をしていたとは知りませんでした。完成すれば物流や交通の利便性の向上の他、沖洲や津田に来る人が増えて周辺地域の活性化にも繋がる重要なものになると気づき、地元に住む者としてとても嬉しく感じました。

私が普段学んでいる分野とは少し違う現場の見学でしたが、とても意味のある見学会になったなと思います。地域をより良くする為、というのは普段あまり実感しにくいものですが、今回の現場見学会を通じて身近な場所で徳島の活性化に携わる方たちの存在に改めて気づくことができました。私自身の進路については正直なところまだ曖昧で今すぐには答えが出せない段階ですが、今後知識や技術を深めていく中で今回学んだことを活かしていきたいです。

○森田 蓮

今回の現場見学会で思ったことは、まず名田橋ではもともとあった橋の修繕だったのでイメージしていた作業とは全然違いました。

2つ目は豊久下流地区耐震対策工事の現場を見学しました。そこでは、東日本大震災の時の被害を想定して、地震や津波対策をしていました。この現場では測量の機械を見て驚きました。通常2人で行う作業を1人で行うことが可能になっていたからです。機械の精度が上がると人が必要ではなくなる仕事なので、これからは機械ばかりになって人がもっと少なくなるのではないかと思います。地震前と地震後では地盤が全然違うものになっていて津波が来るときは気を付けなければならないなと思いました。

3つ目は新町川橋では前から気になっていた川の上に建てられている橋はどのようにして建てられているのか疑問に思っていたことが、この見学で知れてわかりました。日本でも数少ない大きなクレーンを使って橋を作ると言っていたので驚きました。クレーンを使って工事していてそれが

倒れたら怖いなと思いました。資料を見るとここは海が近くにあるので塩害対策として鉄筋が腐食しないように工夫をしていて、一般の人でも見学やトイレ休憩ができる場所があるのでいいなと思いました。

4つ目は沖洲高架橋ではドローンが使われていたので、こういった場所で使われているのだなと思いました。

全ての工事が2、3年後には完成するのですごく楽しみです。機械にはできなくて人間にしかできないようなこともあると思うので、卒業するまでにしっかりと勉強しておこうと思いました。

○山本裕大

今回現場見学会に参加して、いつもは気にすることなく通っている橋がつくられているところや普段では見ることでできないような橋の下の部分まで見ることができたり、地震や津波が発生したときの対策工事をしているところを見えたり、本当に良い経験になったと思います。

その中でも一番強く印象に残っているのは、橋を支える下部の工事現場を見学できたことです。水の中をすごく深くまで掘って工事をしていたのでとても驚きました。今まで、完成した状態でしか見ることがなく内部の構造の話も聞く機会というのもあまりなかったので、実際に内部の細かい部分までみることができてよかったです。また、つくっているところを見たことで橋への興味も少しずつでできました。

そして、名田橋を修理している場所も見学して点検費用がものすごく高額で、長い時間を掛けて行われていることも初めて知ることができました。

これらの、工事現場を見学したことで自分自身もこのような仕事に携わってみたいと思うようになりました。

川沿いの地震による液状化対策の工事現場では、最新の測量機器を使用しているところを実際に見ることができ、人の手で時間を掛けて設置していたのがすごく細かいところまで機械が設置してくれるのは本当にすごいと思いました。

今回の現場見学会では、初めて目にするものばかりですごく良い経験になったと思います。この学んだことを、これからの勉強や就職の時期に活かせるようにしたいと思います。

○秋田桃子

今日は、土木コースと一緒に現場見学会へ行きました。どんな現場に行けるのかとても楽しみにしていました。

最初は、名田橋の橋梁修繕工事の現場でした。今は修繕をする場所に足場が組まれていました。橋がだいぶ古いので今の工事でも重量的にはギリギリだそうです。この工事は、来年度に完成する予定だそうです。

次は、豊久下流地区耐震対策工事の現場でした。地震が起こった時に堤防の液状化を防ぐための工事をしていました。地面に穴をあけながらコンクリートを流し込み、杭を作っていく工法だそうです。吉野川の堤防では液状化してしまう部分はまだあるそうです。いつ地震が起こるかわからないので、急がないといけない工事だと思いました。この現場では、最新の測量機器を見させていただきました。今までは、測量をするのに二人で作業をしなければいけませんでした。しかし、最新機器では一人で作業ができてとても画期的だと思いました。この現場にきて最初の説明で新3Kのことについて話を聞くことができました。今までの建築業界の3Kは、「汚い、危険、きつい」でし

た。ですが新3Kは、「給料が高い、休日が取れる、希望がある」だそうです。今の建築業界はこの新3Kに変わってきているそうです。そのことを聞いて、とても良い職場環境になっていっているのだなと思いました。

昼からは、新しくできる高速道路のための橋の現場へ行きました。津田の現場と沖洲の現場に行きました。最初の津田の現場では川の中の橋脚を作る工事をしていました。規模がとても大きく、すごい迫力でした。授業で習った工法でした。でも実際に見るのは初めてだったのでとても驚きました。

沖洲の現場では、橋脚の杭を打ち込む工事をしていました。近くで溶接をしていました。工事の説明を受けた後、最後にドローンで記念撮影をしました。とてもハイテクだと思いました。

今日は、今までに見たことのないものばかりで、とてもおもしろかったです。今日、学んだことをこれからの勉強に活かしていきたいです。

○稲居桃花

今日の現場見学で一番心に残っているのは、3Kの話です。今までの建設業は「汚い、危険、きつい」の3Kで、建設業に就職する人は少なかったけれど最近では「給料が高い、休日が取れる、希望がある」の新3Kをつくり、人不足を改善しているそうです。また、女性も就職しやすい環境にどんどんなってきているそうです。建設業の仕事がないと、私たちが安全に橋を渡ることができなったり、交通の便利さがなくなったりするので、この新3Kや女性に対する環境を変えていっているのは、本当に大切な取り組みだと感じました。私も高校を卒業した後は、建設業に就職しようと考えているので、とても嬉しく思い、建設業に就職したいと思う気持ちが前よりも強くなりました。私たちが就職するころには、もっといい環境になっているはずだとおっしゃっていたので、とても仕事がしやすい環境になるのかなと思います。

また、南海トラフ大地震に備えた工事を行っていることも心に残りました。もういつ来るかわからない地震に備えた工事がどんどん進んでいて、災害が少しでも減るように工夫していつてくれているのだと実感しました。私が設計する立場にもしなれたとしたら、地震のことをしっかりと考え、その建築物を使う人が安全に使うことができるように設計したいと思いました。

今日、この学んだことを活かし、これからの進路をしっかりと考えていき、企業のこともっともっと調べて知っていったらいいなと思います。

○住友芳佳

名田橋の修繕維持工事請負費1億3000万に対して、橋の空間の鳥の糞の清掃費が1億ちょっとで、ほぼ同じ額であることに驚きました。橋の工法が古い事と、橋ができた年代を聞き建築物はよほどのことが無い限り、存在し時代を感じるができるものの一つであることを実感しました。

松茂の下流地耐震対策工事では、若者の減っている中のこれからの建設業についてやった時、どれだけ効率よく仕事をするか、仕事環境の新3K（給料が高い、休暇が取れる、希望がある）をどれだけよくするか、大きく鍵になるということを学びました。効率よく仕事をするために、杭ナビという一人で杭打ちができる機械を初めて知りました。凄く技術が進歩していることを実感しました。

高速道路の建設場では、ディープウェル工法や、アースドリル工法など授業で習ったものが出てきましたが、実際に目で見るとと教科書で見るとは全く違ううえ、機械のスケールの大きさ、それ

を操作して動かしているということに驚きました。

今回の現場見学を通して思ったことは、建設業にも種類があり、どれも暮らしていくうえで必要なものを造る大切な仕事ということをあらためて実感しました。自分も早く建設業に就職したいと思いました。

○田中咲妃

今回の現場見学に参加して、土木関係の話が多く初めて聞くような言葉もありましたが、とても勉強になる内容ばかりでした。

名田橋では、橋の両側にある柵を LED が埋め込まれたものに新しく変える工事をしていました。名田橋は、とても珍しい構造になっていて、鳥の巣や鳥の糞が橋の内部に多くあり、それを除去するのに約一億円もかかると聞き驚きました。そして、工事に使われている足場を実際に登り、工事している部分を間近で見ることができ、とても貴重な体験になりました。

松茂にある耐震対策をしているところでは、津波による地盤沈下が起きないように、砂の杭を打ち込む工事をしていました。ここでは、最先端の測定の機材を体験させていただきました。その測定の機材は、地面に立てて置くと自動で地面と水平に据え付けができ、スマートフォンと連動して、ポイントの位置を正確に教えてくれるというものでした。測定の機材がここまで進化しているとは思いませんでした。

津田で行われている高速道路の工事では、四国の高速道路を 8 の字に繋ぐ計画を進めているというお話を聞きました。今まで徳島の高速道路は他の県に比べるとあまり発達していないように感じていました。でもあと何年後かには、徳島の南部の方にまで高速道路が開通すると聞き、不便さが少しでも改善の方向に向かっているのではないかなと思いました。

マリンピアで行われている高速道路の工事では、津田と繋ぐ工事をしていました。マリンピアは私の家からも近く、よく県外にナンバーの大きなトラックが通っているのを見かけます。その方々にとっても高速道路ができたなら、とても便利になるのではないかなと思いました。

今回の 4 つの現場見学で初めて見たり、聞いたりすることも多かったです。今後の勉強にも確実に生かしていけるように努力したいです。

○西田菜々里

4 か所の現場を見学して、橋や高速道路といった大きく、将来の何十年何百年先まで残り続けるものの建設に携わるのは素晴らしいことだと感じた。また、建築や土木工事の職は国民が便利に生活するうえでは欠かせないものだとわかった。

大規模なものを築くのは簡単なことではないし、長い時間と多くの人の協力があってこそできることなので、この技術はこれからも継承していかなければならないと思う。

今現場で使われている機械のなかでは、かなり進歩しているものもあって面白かった。

建築系の職に就くには技術や知識がたくさん必要だと思っていた。しかし、時代の変化に適應しながら、労働者を少しでも楽にさせることができるようにと新しいものが生み出されているのは、これから働く人たちにとってとても助かることだと思う。また、賃金をあげたり、週に 2 回の休みをつくったりと、働く人がこれから先ずっと働きたいと思えるような制度がつけられていることに驚いた。私は土日もずっと働いているのを見るのがよくあったので、ほとんど休みがなくブラックなイメージがあった。でもこれからの若者が働きやすいように様々な工夫をしているところが魅

力的だった。もし自分が建築業に携わるような職に就いたら、一生誇りをもって働くことができると思う。

まだ知識が浅いので話を聞いてわからない言葉がたくさんあったので、これからも建築について真剣に学んでいきたい。

○福澤理実

今回の現場見学で、たくさんの貴重な経験が出来ました。

1つ目の現場の名田橋では、実際に足場の上って上で行われている工事の状態を見ることが出来ました。上ってからの景色は、目線が道路と同じぐらいで場所によっては道路の下で作業をしなければいけない所もあり、車が通ると大きな音や、揺れ、振動が伝わってきました。危険が伴っていて、改めて大変だなと感じました。

姫野組の現場では、実際に鋼矢板が入っていくところを見ることが出来ました。また、最新の測量機械「杭ナビ」という機械を体験することもできて面白かったです。いろいろな技術が進んでいて、作業効率も上がり、作業する人も楽になっていてとても便利になっているのだなと思いました。

五洋建設が行っていた高速道路の基礎の工事で、大きなクレーンでクラムシェルを吊っていてそのクラムシェルが水面から出てきたり入っていったりしたときの迫力がすごかったです。

そして、最後の現場で、ドローンを使って写真撮影をしたのが面白かったです。このような大きな工事の一部を見学することが出来て、とてもいい経験になりました。また、収入が増えるという話や、週休2日制が浸透してきているという話もあって、建設の仕事へも少しずつ進みやすくなるのかなと思いました。そして、今回の現場見学の中で実際に施工の授業などで勉強していた杭工事も何か所か見ることができ、ただ授業で聞いて教科書で見たりするだけではわかりきらなかったところも理解できて、普段習っている内容をより深めることが出来ました。どれも貴重な経験で、良い思い出になりました。これからの授業でも思い出し、活かしていこうと思います。また機会があれば、ほかにもたくさんの所を見学したいです。とても楽しかったです。